

SOAI

相愛ファミリア

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1 TEL.06-6612-5900
相愛高等学校・相愛中学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23 TEL.06-6262-0621

2010 No. 17

familiar

みんなの幸せのために

管理栄養士・相愛高等学校卒業生
米澤亜希さん



- 4 新学長、理事長に聞く
- 6 女子マラソンを応援
- 10 来年春に3新学科



「相手の立場に立つ」ことを知り 今につながった高校時代



社会で活躍する
卒業生

米澤亜希さん(管理栄養士・相愛高等学校卒業生)

病気やけがで療養する人たちに、役立つ栄養指導を行う「管理栄養士」。米澤亜希さん(30)はその国家資格を取得して、高齢者医療に取り組む「大寿会病院」(大阪府枚方市)に勤務している。「患者のみなさんに食事してもらえるように、いろいろ工夫しています」と忙しいながら充実した日々をおくる米澤さん。「今」を形作るのに、大きな影響を与えることになった懐かしい相愛高校時代の思い出などを聞いた。



北海道の修学旅行で住本教諭や友人たちと右から一人目

礼儀正しさにほれ込む

この病院に勤めて5年、米澤さんは病室に出向いて患者さんにわかりやすく栄養指導をすることもあれば、パソコンを前にしたオフィスワークと、いろいろな作業を的確につぎつぎとこなしていく。

父と母のアドバイス。それがあったからこそ、いまの彼女がある。「この学校にきなさい」。相愛高校の学校説明会に一人で行った母は、彼女にこう薦めた。出会った生徒たちがみんな「こんにちは」とあいさつする礼儀正しい校風に、まず母がほれ込んだ。「私は入試の時に初めて学校に行ったんです(笑)。2組だけの特進クラスで組の入れ替わりがあまりなかったので、みんなの性格がよくわかって、仲良く楽しい高校生活をおくることができました。友達も先生がたも相手の立場に立って考える人が多くて、私自身も自然にそれが身についたような気がしています」。

大学時代も勉強、勉強

バスケットボール部に入り、副キャプテンとしてクラブ活動に熱中した毎日。そんななかで大学進学、そして就職について「人の役に立つような仕事に就きたい」とほんやりと考えるようになった。そんなとき、今度は父の言葉が方向性を決めた。「資格を取るほうがいい」という進言を受けて、大学の栄養学部か薬学部への入学を目指し、クラブ活動を引退した3年生の9月から本格的に勉強を始めた。「朝ご飯を食べてから

3時間、昼と夜も食事の後に2時間と集中してやりました。おかげで受験科目に選んだ化学が好きになりました」と振り返る。

しかし、入試では悔しい事も何度かあった。ある日、高校の国語教師に「だめでした……」と報告すると、教師は明るく「ええもんあげるわ」と1冊の漫画を彼女に手渡した。「そこには『そのままでもいいんだよ』と書いてあって、その言葉にものすごく救われました。こうして甲子園大学栄養学部に入学、「管理栄養士と検査技師の資格を取ろうと思っていたので、4年間ずっと勉強をしていたような感じですよ」という。

進路のリサーチはしっかり

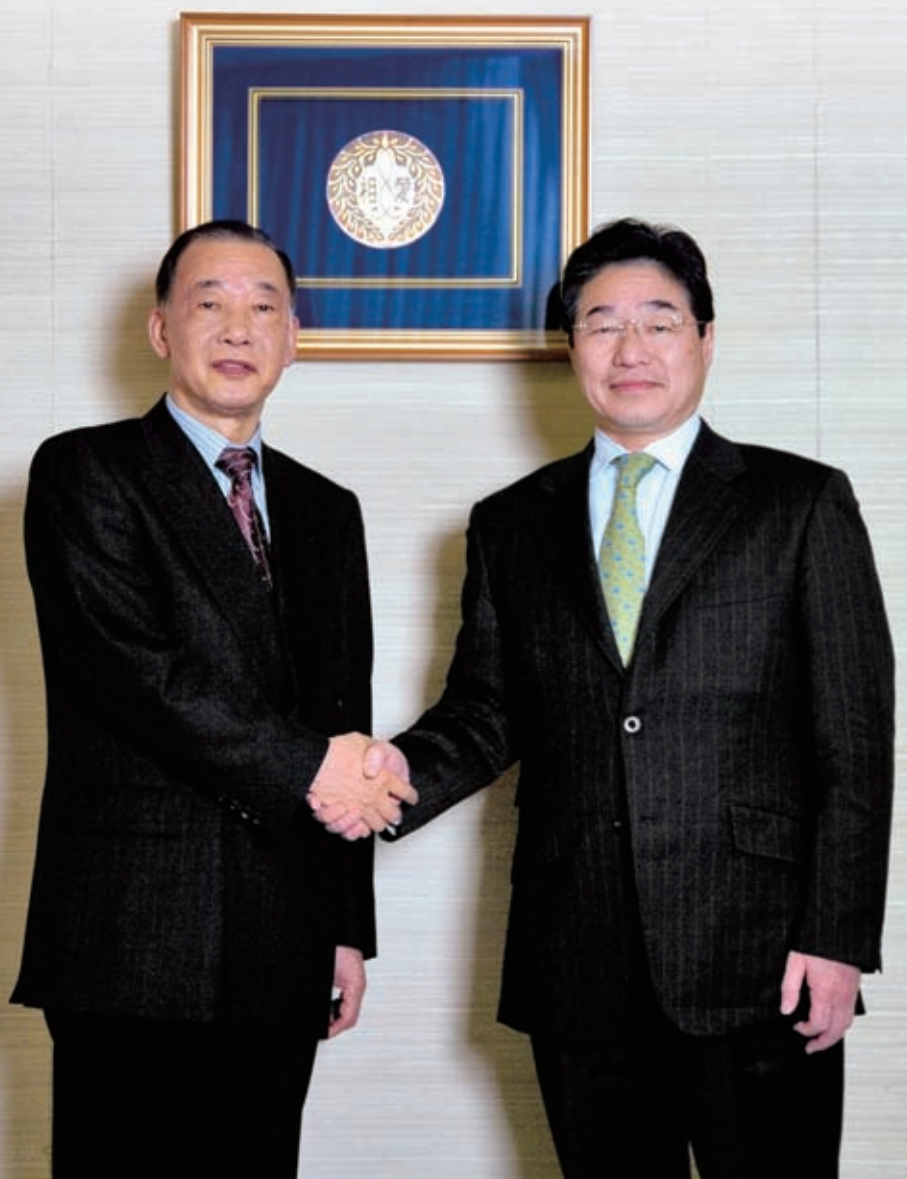
こうして取得した資格を生かして、いまは高齢者医療に力を注いでいる。「患者さんの飲み込む力が落ちてきたなと思ったら、とろみを付けたりゼリー状にしたりして、安全に体の中に入れてもらうためにそれに合った食事の対応をするように心がけています。学校では習わなかったことも多いのですが、経験を通じて学んでいます」。昨年には「健康運動指導士」の資格も取得。リフレッシュのために始めたプリザーブドフラワーでも「いつか資格が取れたら」とさらなる目標ができた。着実に自分の道を歩み続けている米澤さん。「目指している職業が、実際にどんな仕事をして、収入はどれくらいあるのかなどをリサーチしたほうがいいと思います」と進路に迷う後輩たちへのメッセージを送った。

(取材協力・医療法人 大寿会 大寿会病院)

仏教と音楽を柱に 日本をリードする人材育成

新学長、理事長に聞く

4月1日付で相愛大学の学長に、^{かねこさとる}金児曉嗣先生が着任されました。前任の大阪市立大学では6年にわたって学長を務め、大学改革、地域貢献などにめざましい成果を上げられた金児新学長と、その手腕に大きな期待を寄せる出口湛龍・相愛学園理事長。二人に当面の目標や5年先、10年先を見据えた大学の将来像などを語り合っていました。



●客員教授に寂聴さんら

—新学長の「相愛」についての印象をお聞かせください。

金児学長 歴史と伝統のある学園という印象があります。岡部伊都子さん(故人、随筆家)や山崎豊子さん(作家)もここで学ばれました。大学は男女共学になりましたが、「相愛」は大阪の女子教育に大きな貢献をしてきた学校という認識は以前から持っていました。ただ、現在の「相愛」について語るなら、改めていかなければならないことが、いくつもあります。若者たちのニーズにどう応えるかを真剣に考えなければならないし、教職員の徹底した意識改革もぜひ実現しなければならないと思っています。

—改革の一環として、人文学部の仏教文化学科と文化交流学科、音楽学部の音楽マネジメント学科を来春新設すべく、準備



金児曉嗣新学長

かねこ・さとる 1944年11月23日生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程(心理学専攻)単位取得退学。大阪市立大学文学部長、同大学副学長、学長などを経て現職。



出口湛龍理事長

でくち・たんりゅう 1951年12月8日生まれ。龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了。浄土真宗本願寺派総務、真宗学研究財団理事長などを経て現職。

を進められているようですね。

出口理事長 一昨年の学園創立120周年を契機に、守るべきもの、やめるべきものを精査しました。その結果、学園の建学の精神になっている「仏教」、創立以来重視してきた「音楽」の二つを柱にしながら大学の特色を出していくことにしました。学科の新設もその中から生まれました。作家の瀬戸内寂聴さん、バイオリニストの五嶋みどりさんらに客員教授として大学に来ていただきます。

●本町学舎で落語会も

金児学長 基礎研究を大切にしながら、大学の特色を発揮できるよう環境づくりにしっかりと取り組んでいきたいです。大阪市立大学での37年の経験も生かしていくつもりです。初年次教育の徹底はその一つです。課外活動に参加したり、授業以外の勉

強をする機会を持つのは大切なことです。そこで「真の友」を見つけてほしい。大学の中で、一日のかなりの時間を過ごすことができる雰囲気をつくりたいですね。先生方にも頑張ってもらいます。頑張った先生には教育研究費を重点的に配分することも考えてみたいと思っています。

—地域との結びつきについては。

金児学長 大阪市の子育て支援にかかわることで人間発達学部の学生のインターンシップが実現できるのではないのでしょうか。大阪市だけでなく、さまざまな企業にも協力していただき、「産」「官」「学」の連携を強化。同時に、大阪府下にある大学とのネットワークを利用し、足りないところをお互いに補完できるシステムをつくることも考えていきたい。地元のみなさんに喜んでもらえる落語会などは交通の便がいい本町学舎の講堂で実現できそうです。

●学生が魅力を感じる大学に

—最後に、将来の相愛大学像をお聞かせください。

金児学長 財政基盤の強化や魅力のある大学づくりなど、急いでやらなければならないことの対応に2、3年かかるかもしれません。5年後、10年後の大学像はそのあとに見えてくるはずですが、とにかく、学生が「少しでも長くキャンパスにいたい」と思うような魅力のある大学にしたい。それが私の願いです。

出口理事長 新学長は大阪にしっかりと根を下ろし、活動してこられました。これまでの実績も存分に生かしていただき、大阪にとどまらず、日本をリードしていく人材を輩出する大学にしていただければと思っています。



吹奏楽部が応援 大阪国際女子マラソンを



1月31日に行われた大阪国際女子マラソン・大阪ハーフマラソンに出場した選手たちを相愛高校・中学の吹奏楽部が、コース途中の大阪城公園内で演奏し、応援を盛り上げました。昨年末から練習を重ねてきましたが、当日はあいにくの雨。しかし、力走する選手たちの励みになるよう、部員たちは心一つにして精いっぱい演奏を披露しました。

参加したランナーからは「ゴール直前の吹奏楽の生演奏はとても勇気づけられました」との声がたくさんいただきました。マラソン終了後、部員たちは「演奏している私たちの前を通過する選手の方々が、みんな手を振ってくれる姿を見て、私たちも勇気づけられました」と同じ時を共有できたことをとても喜んでいました。



支え合う大切さ知った 吹奏楽部長 高校3年・新庄朋美

今回初めて大阪国際女子マラソンでの応援演奏をさせていただきました。最初、先生から聞かされた時は、日にちが迫っていた焦りと、大きな舞台だという不安でいっぱいでしたが、本番に向けてみんな体力づくりをして練習を積み重ね一生懸命頑張りました。

当日は大雨で予想以上に寒くびっくりしましたが、この舞台での目標は楽しく笑顔で演奏し、選手のみなさんを応援することだったので、みんなで声かけをして励まし合いました。そんな私たちに、選手のみなさんは走りながら演奏に耳を傾けて下さり、手を振って下さいました。その優しさが私たちの励みとなり、最後まで演奏することができました。

今回の演奏でみんなと支え合うことの大切さや、吹奏楽の楽しさを改めて実感しました。これからも一つ一つの舞台を大切に部員全員で成長していきたいと思っています。



心温まった選手の対応 吹奏楽部 中学2年・亀山夏美

大阪国際女子マラソンの応援演奏の時は、雨が降っていて寒かったけれど、演奏が終わった後は達成感があり、楽しかったという思いが残りました。演奏中に一般の部の数人の人が、こちらに手を振ってくれました。その時私は、何だか心が温まりました。目の不自由な選手が、伴奏者といっしょに走っている姿を見た時は、すごいなと思いました。でもドラムで足が回らなかったり、違うところを演奏してしまったりと2、3回間違ってしまったのは悔しかったです。

今後は本番でミスなく演奏できるよう、もっと練習をがんばろうと思いました。来年は後輩もできると思うので、クラブ活動のことをいろいろ教えていきたいと思っています。



ご門主様がおかみそり 飛雲閣も特別拝観

高校卒業生帰敬式・本山参拝

2月22日、卒業式を控えた高校3年生137名が本山(西本願寺)と大谷本廟を訪れ、卒業奉告参拝を行いました。生徒、保護者、教員の中から希望者112名が帰敬式を受式。新たに大修復された御影堂の厳肅な雰囲気の中で、式章をかけ合掌する受式者一人ひとりに、ご門主様によっておかみそりがあてられました。

受式者を代表して、浦瀬安希子さんが法名を拝受し、木曾祥子さんがご門主の前で「親鸞聖人のお心を建学の精神とする相愛学園に学ぶ私たちはお念仏のみ教えを大切に、苦しみや悩みの多いこの人生を力強く生き抜きます」と帰敬文を読み上げました。

引き続き音楽法要による参拝式を行い本願寺派布教使によるご法話を聴聞した後、奉告参拝はじまって以来初めて、国宝の唐門や飛雲閣を特別拝観しました。



初めて飛雲閣を特別拝観

成長感じた生徒の後ろ姿

高校3年生にとって、相愛生として最後の本山参拝となった2月22日。平成の大修復を終えた御影堂にて、まずは帰敬式が執り行われました。相愛学園とご縁をいただいたことの思い入れから、私も生徒と一緒に受式させていただきました。ありがとうございました。ご門主様からおかみそりを受けましたことに感激し、法名に恥じぬよう生きていこうと生徒と語り合いました。引き続き卒業奉告をする生徒の後ろ姿には3年間の成長が感じられ、たいへん感慨深いものがありました。また、国宝の飛雲閣を拝観する貴重な機会にも恵まれました。卒業後も「當相敬愛」の精神を持ち続け、それぞれの道を力強く歩んでいってもらえたらと願います。(相愛高校3年学級担任〈当時〉 坂田明子)



卒業実感した帰敬文

この度、おかみそりという仏教学校ならではの、とても貴重な経験をさせていただき、その上代表生徒として帰敬文を読ませていただいて、緊張はしましたが素晴らしい経験をさせていただけたと思っています。

中学から6年間相愛学園に通い、卒業なんてまだまだ先だと思っていましたが、帰敬文を読んでいると卒業生になったんだという実感が湧いてきて、私が相愛生として6年間で学んだ上下関係や友人関係、そして精神面の事など他にもたくさんありますが、このような事を思い出し、今後の大学生活や社会に出てからの生活に活かしたいと思いました。

本当に素晴らしい経験をさせていただき、ありがとうございました。(卒業生 木曾祥子)



人間発達学部初の卒業生



平成21年度
卒業式 大学

相愛大学の平成21年度卒業式が3月18日(木)、本学南港ホールにて行われました。厳粛な雰囲気の中、記念すべき初の卒業生となった人間発達学部の卒業生達は、華やかな袴や振り袖を纏い、社会への第一歩を踏み出していました。今年の卒業式では、418名(音楽学部99名、人文学部159名、人間発達学部146名、音楽専攻科14名)が新たに相愛を巣立ちました。



平成21年度
卒業式 高校



相愛高等学校の平成21年度卒業式が2月27日(土)、本学本町学舎講堂で行われました。式当日は快晴の天気にも恵まれ、卒業の日を迎えた138名の3年生はとても晴れやかな表情で会場に集まり、新しい門出を祝う華やかな卒業式となりました。

平成21年度
卒業式 中学



相愛中学校の平成21年度卒業式が3月19日(金)、本学本町学舎講堂で行われ64名の卒業生達を祝いました。爽やかな青空の下、厳粛に行われた卒業式は、卒業生達の涙に充実した中学校生活を送ってきたことが伝わる素晴らしい卒業式となりました。

新生活 希望あふれ



平成22年度
入学式 大学

4月5日(月)、本学南港ホールにおいて、平成22年度相愛大学の入学式が行われました。晴天に恵まれて暖かく、そして桜も満開の中、音楽学部音楽学科82名、音楽学部編入生5名、音楽専攻科19名、人文学部81名、人文学部編入生53名、人文学部派遣留学生35名、人間発達学部139名、人間発達学部編入生5名の合計419名が大学生活をスタートさせ、金児暁嗣学長からは、「よき師、よき友との出会いを大切に大学生活を送ってください」との式辞が述べられました。

平成22年度
入学式 中学・高校

平成22年度相愛中学校・高等学校入学式が4月7日(水)、本学本町学舎講堂にて行われました。心配された天候は崩れることなく、中学生56名、高校生117名の新入生を迎えました。式辞では、「あらき世の人のために生きることができる努力を始めて欲しいと願います」と牧本英男校長は話され、やや緊張した面持ちの中学校新入生たちは、これから始まる中学生活への期待で満ち溢れ、引き続き高校へと上がる新入生たちは、慣れた趣で凛とした表情を見せ、式に臨んでいました。



2011年春

音楽マネジメント学科 新設

(仮称・構想中)

本町学舎にて開設予定

ご支援をお願いします

一昨年度の相愛学園創立120周年、音楽学部創設50周年という記念すべき年を契機として音楽学部では新学科となる「音楽マネジメント学科」(定員50名)を平成23年度から開設する予定です。現行の伝統ある「音楽学科」(定員120名)に加え2学科体制とし、さらなる飛躍を遂げようとしています。

■音楽をビジネスに

「音楽マネジメント学科」開設の本来の目的は基幹学部としての音楽学部の改組・改編によって相愛大学そして相愛学園の将来への展望を示すところにあります。そして、この第2学科の教育目的は、優れた演奏技術、研究業績などを習得した人や組織をマネジメントすることにあり、第1学科の専門性の高い音楽家、研究者教育目的との相違を明確にします。これらの趣旨に基づいて、第2学科のコース編成として、音楽をビジネスとして捉え、さまざまな音楽企業に人材を輩出する①音楽ビジネスコースとIT音楽分野に必要な人材を音楽教育側から育成する②IT音楽産業コースを置くことと

しました。さらに、第2学科の新設に当たっては、本町学舎での開設や学費等についても検討されることになっています。

■社会的要請に応え

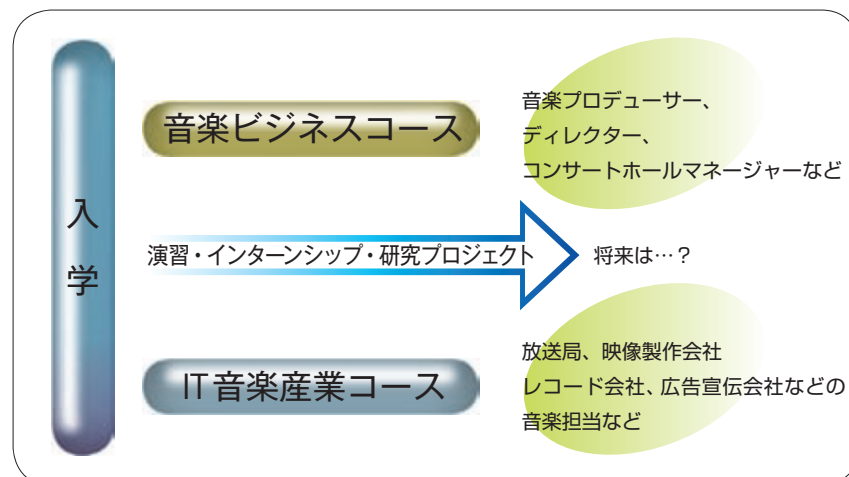
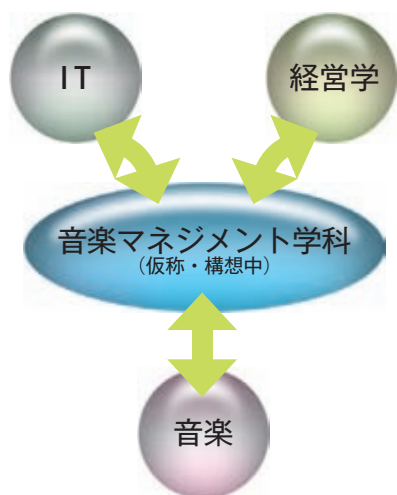
音楽と社会とのつながりについて再考することが今日の音楽教育に求められる重要な課題であると思われます。この度の音楽学部における新学科開設は、建学以来「常に相い敬愛すべし(當相敬愛)」という教育理念をもって人材育成をしてきた本学に対する社会的要請にも応えるものであると考えます。

関係者皆様方の力強いご支援をお願い申し上げます。

(音楽学部長・大前哲)



●音楽マネジメント学科の目指すもの



2011年4月、人文学部に2つの学科を新設

※2011年4月開設予定 設置構想中。
学科・コース名はすべて仮称です。

仏教文化学科[※]

文化交流学科[※]



仏教を思想や歴史、文学、芸術などの多角的な視点で学び、深い教養や豊かな感性を身に付けます。また、仏教の精神を基盤として「知・情・意」をバランスよく成熟させ、現代社会において人生を生き抜く力、人間の老いや死と向き合う心、他者と安定した関係を保つ力などの人間力をはぐくみます。

さまざまな文化が共存するグローバル化社会で活躍できる、真の国際人の育成をめざします。異なる文化を受け入れ、理解できる国際的な感覚を磨くと同時に、複数の言語を扱う力や、異文化と交流するために必要な見識などの実践力を身に付けます。また、自国の文化を分析し、世界に発信できる力も養います。

- 予想される卒業後の進路
- 浄土真宗本願寺派僧侶
 - 文化財保護職
 - 教団宗務員
 - 仏教関連企業
 - 福祉施設
 - 出版・マスコミ関係
 - 公務員
 - 矯正保護関係
 - NGO/NPO 関連団体
 - 大学院進学 ほか
 - 図書館司書

- 予想される卒業後の進路
- 海外進出企業
 - 税関
 - 外資系企業
 - 航空会社
 - 貿易会社
 - NGO/NPO 関連団体
 - 通訳・翻訳業
 - 旅行関係
 - 金融機関
 - 語学教員
 - 国際交流機関
 - 公務員
 - 外国駐在機関
 - 大学院進学 ほか

公開講座

テーマ「大阪から考える」

●主催：相愛大学人文科学研究所

本年度も、恒例の公開講座を下記の通り開催いたします。メインテーマは、「大阪から考える」です。それぞれの専門領域の講師が、専門領域の「文化」について大阪から考え語ります。大阪から考えることで見えてくる「上方文化」の真面目を科学すべく企画しました。多数ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。（お申し込みは不要）

なお、入場は無料です。当日、定員になり次第締め切らせて頂きます。（人文科学研究所長・鳥井正晴）

- 場 所：相愛学園 本町学舎 講堂
（地下鉄御堂筋線「本町」駅 下車すぐ）
- 相愛大学 南港学舎 R401 教室
（ニュートラム「ポートタウン東」駅から徒歩約3分）
- 時 間：午後2時～4時
- テーマ：「大阪から考える」

9月 4日⊕ 宗教と芸能—仏教と上方落語—
（会場 相愛学園） ● 本学教授 釈 徹宗

9月 11日⊕ 大阪の全盛期
（会場 相愛大学） ● 本学教授 千葉 真也

9月 18日⊕ 古代仏教会法の素晴らしさ—四天王
寺聖霊会舞楽大法要について—
（会場 相愛大学） ● 本学准教授 小野 真

9月 25日⊕ 平安遷都後の難波地域
（会場 相愛学園） ● 本学教授 山本 幸男

10月 2日⊕ 大坂の学—山片蟠桃と荻生徂徠—
（会場 相愛学園） ● 本学教授 呉谷 充利

※諸般の事情によりやむを得なく変更する場合があります。予め、ご了承下さい。

●お問い合わせ先

〒559-0033 大阪市住之江区南港中4-4-1
相愛大学・教務課 TEL 06-6612-5900 (代表)

昨年度の公開講座 テーマ「比較文化を語る」より



孫久富

紅樺英頭

嘉戸一将

木下有子

小野真

月の兎は日本では餅を搗き、中国では葉を搗くのは何故かと、孫久富の「月の伝説」は、魅惑的な問い掛けから始まった。紅樺英頭は、浄土真宗の普遍性を印度、中国、日本での変遷に検証し、親鸞の「他力」の大きさをいった。嘉戸一将も、そもそも「国家」とは何

かという根源的な問いから出発し、近代における国家の成立を問いた。木下有子は、世界のことばの具体例を通して、文化の差異と普遍性という大きな命題に迫った。小野真も、「宗教」の難解な定義から始まり、仏教儀礼である「供養」という形とその中身まで解説した。

発達栄養学科の学生を中心にポータルタウンショッピングセンターで2月13日、第3回の食育推進キャンペーンを行いました。

子どものころから規則正しく朝食をとり、野菜や果物を適量摂取することは大切なことです。そこで、食育体験コーナーとして「野菜・朝ごはん・おやつ・食事バランスガイド」の四つのテーマで、住之江区食生活改善推進員協議会、健康おおさか21・食育推進企業団、(社)大阪府栄養士会、大阪府立健康科学センター等の後援・協賛のもと、地域の子どもたちを対象に実施しました。

今回のキャンペーンは子どもや保護者の方を含め約1000人の方が参加。中には、「今日で来たの3回目!!」と第1回から参加してくれている子どもたちもいて、このキャンペーンをとっても楽しみにしてくれているようです。

学生たちは試行錯誤しながら作った教材を使って初めての実践でしたが、子どもたちと接している姿はとても生き生きとしていました。どの体験コーナーもたくさんの子どもたちと共にご家族の方も一緒に参加して下さり、今回も楽しい食育推進キャン



好評だった「食事診断」

食育推進キャンペーン & 食と運動・健康フェスタ

のべ2000人参加で大盛況



リピーターの子どもたちも多かった食育推進キャンペーン

ペーンを行うことができました。

続く14日は同会場で大阪電気通信大学、大阪産業大学、相愛大学の連携による「おおさか食と運動・健康フェスタ」が開催されました。

この事業は、「大学コンソーシアム大阪」の地域連携事業で、参加者は1000人以上。会場は熱気にあふれていました。最初に大阪電気通信大の吉田正樹教授によるあいさつがあり、健康フェスタが開始です。

各大学が実施したイベントは、本学が食育SATシステムを活用した「食事診断」とIn Bodyによる体脂肪測定、大阪電気通信大が足の指の働きとバランス能力の評価、大産大が「健康・体力測定」(血管年齢や体

力の測定)とミニ講座「笑って運動、楽しく健康」(健康運動教室と健康講座)でした。

本学のSATシステムによる「食事診断」は、トレイの上に、いつも食べている食事のフードモデルをのせるだけで「カルシウムが少ないかもしれませんね」「少し食べすぎているようです」とすぐに食事診断ができます。

203人の方に対して実施しましたが、食事に関心が高く、意識して食べておられる参加者の方が多いと感じました。

フェスタは、大盛況のうちに終了。ご来場いただきました方々に厚く御礼申し上げます。



本学学生2人が特別賞
愛情バランスお弁当コンテスト



特別賞を受けた久保さん(左)と足立さん



最終審査の様子

イズミヤ(株)と大阪府、食品企業19社加盟の「健康おおさか21・食育推進企業団」、(社)大阪府栄養士会、大阪府食生活改善連絡協議会、大阪府立健康科学センターと本大学が連携・協働した「愛情バランスお弁当コンテスト」は今回で第6回目となり、約240件もの応募がありました。

本学の専門教員による応募作品の審査の後、専門家等による1次審査を実施し、2月5日に最終審査を経て、本学にて表彰式を行いました。本学の久保美津穂さんと足立由美さんが特別賞を受賞し、久保さんの作品は審査員(北村寿子・大阪府食生活改善連絡協議会会長)の印象に残った作品としても紹介されました。

入賞作品は春の行楽弁当としてイズミヤにて販売予定です。

嘉納先生が“橋渡し” 大阪府立急性期・総合医療センターと 包括連携協定を締結

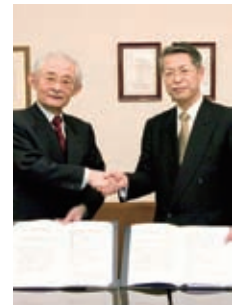
大阪府立急性期・総合医療センター(大阪市住吉区)と相愛大学は2月1日、「相互の密接な協力と連携により、医療・教育・健康・福祉等にかかわる地域の課題に迅速かつ適切に対応し、心身共に豊かで活力のある地域社会の形成・発展に寄与すること」を目的とし、「包括連携協定」を締結しました。

協定調印式の後、記念コンサートが開催され、同センターの荻原俊男院長は「この包括連携は嘉納愛子先生(本学名誉教授、103歳)の院内コンサートがきっかけでした。今後、さまざまな連携事業を実施していきます」などとあいさつ。

その後、特別ゲストとして嘉納名誉教授が挨拶され、本学卒業生中島紗理さんがバッハの「G線上のアリア」などを演奏。チェロのことや曲目について優しく語りかけるトークも交えて聴衆を魅了した。



嘉納名誉教授(前列中央)とセンター、相愛大の関係者ら



満員の聴衆前に熱演 相愛オーケストラC組・D組発表演奏会



3月13日に本町学舎講堂で行われた第11回相愛オーケストラC組・D組発表演奏会、今回は音楽教室Ⅰ・Ⅲ類の生徒と音楽教室講師によるコーラスも参加し、ほぼ満席のお客様を前に熱演が繰り広げられました。プログラムは次の通り。

D組

- R. ロジャース作曲～丹羽あゆみ編曲・ドレミのうた(指揮：加納千春)
- C. シュターミッツ作曲・トリオソナタ op.14-5

C組

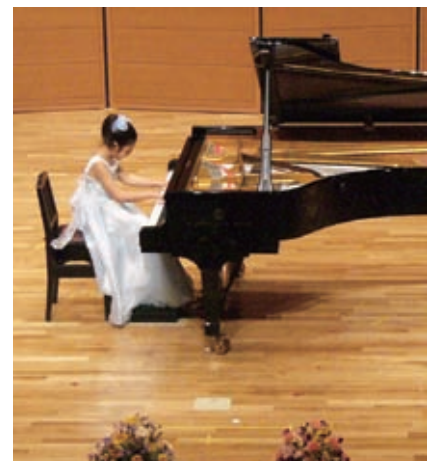
- A. ヴィヴァルディ作曲・グローリア RV589よりNo.1、2、12
(指揮：井上康夫、コーラス：音楽教室生徒と講師)
- E. グリーグ作曲・組曲「ホルベアの時代より」 op.40(指揮：上田真紀郎)

演奏に先立ち25年間D組オーケストラ長を務められ昨年10月にご逝去された東儀幸先生を追悼してチャイコフスキー作曲「朝の祈り」がD組のメンバーによって演奏されました。またロビーには先生の足跡や思い出の写真が展示され、訪れた多くの人々が在りし日の先生のお姿を偲びました。

※東儀幸先生 1956年から相愛音楽教室講師。相愛大学、相愛高校音楽科でも教鞭をとり82年～07年D組オーケストラ長。相愛での指導は50年にわたる。

華やかな 雰囲気の中で ピアノによるスプリングコンサート

お天気にも恵まれた2月28日午後3時から、本町学舎講堂にて「ピアノによるスプリングコンサート」が開かれました。出演は1月31日に行われたオーディションに合格した小3から高3までの生徒たちで、ピアノソロ7名とアンサンブルが2組。講堂は普段の試験や公開レッスンとは違う華やいだ雰囲気につつまれ、生徒たちの立派な演奏にお客様よりたくさんの温かい拍手が贈られました。



相愛オーケストラ 第53回定期演奏会



相愛大学音楽学部、相愛高校音楽科、相愛音楽教室の学生・生徒で編成する相愛オーケストラの第53回定期演奏会が3月9日、円光寺雅彦、酒井睦雄の各氏の指揮のもと、大阪市のいづみホールで開かれた。相愛大学音楽学部卒業生である辨天芳枝(オーボエ)、阪上真知子(メゾ・ソプラノ)の各氏を迎え、満員の会場を沸かせた。演奏曲目は次のとおり。

- モーツァルト／「劇場支配人」序曲
- R.シュトラウス／オーボエ協奏曲 二長調
- ロッシーニ／オペラ「タンクレーディ」より “おお祖国よ!…大いなる不安と苦しみの中で”
- F.チリア／オペラ「アドリアーナ・ルクヴール」より “苦しみの快楽、やさしい責苦”
- ベートーヴェン／交響曲 第1番 八長調 op.21

その音 その声 聴衆魅了



第18回オペラ試演会

相愛大学音楽学部第18回オペラ試演会、W.A.モーツァルト作曲「Cosi fan tutte(コシ・ファン・トゥッテ)」が2月28日、相愛大学南港ホールにて開かれた。指揮に船曳圭一郎氏、演出に岩田達宗氏のもと、相愛大学音楽学部の出演者達が見事な演技と歌声を披露した。

相愛ウインドオーケストラ 第3回ポップスコンサート



今回で3回目となる相愛ウインドオーケストラポップスコンサートは、3月15日、相愛大学南港ホールにて盛大に開かれた。今回は指揮者に若林義人氏、特別出演として大阪フィルハーモニー交響楽団クラリネットトップ演奏者の金井信之氏を迎え、ダイナミックであり繊細な演奏は会場に訪れた人々を魅了した。

演奏曲

- プログラム1**
- B.ケンプフェルト&M.ゲイブラー／黒川さやか 編曲
 - LOVE/ナット・キング・コール
 - B.ティール&G.D.ウエイズ／黒川さやか 編曲
 - WHAT A WONDERFUL WORLD
 - P.デズモンド／榎田鉄之扶 編曲
 - テイク・ファイブ
 - E.エース／福田洋介&郷間幹男
 - Make Her Mine — in Swing —
 - 大野雄二／金山徹 編曲
 - ルパン三世'80
 - H.アーレン／榎田鉄之扶 編曲
 - OVER THE RAINBOW
- プログラム2**
- M.エレビー
 - Clarinet Concerto クラリネット 金井信之
- プログラム3**
- 久石譲／渡部哲哉 編曲
 - Stand Alone
 - 黒川さやか 編曲
 - フランク・シナトラ メドレー他

コンクール入賞者

【中学校の部】

- 第26回ピアノオーディション 奨励賞
 - 脇田千鶴(1年)
 - 関田佳(3年)

【高等学校の部】

- 第15回KOBEL国際音楽コンクール 弦楽器B部門 最優秀賞、兵庫県教育委員会賞
 - 松岡井菜(1年)



音楽学部教授
若林 正史



人文学部教授
紅樫 英顕



高等学校・中学校教頭
堤 重子

新学科を楽しみに
たゞ過ぎに過ぎるもの、人の命。春夏秋冬。
大阪フィルハーモニーで笛を吹いていた頃、親鸞聖人に関する本を夢中で読みあさっていた時期があります。そんな折、相愛からお声がかり着任してみると、相愛は親鸞聖人の学校ではないですか! 驚きました。今から44年前、24才でした。最近の嬉しい驚きは、来年ケニアのナイロビ大学にMOTTAINAI学科が出来る事です。人類発祥の地から「自然との共生」を発信!という事でしょうか。時を同じくして相愛にも新しい学科が出来、楽しみな事です。長い間ありがとうございました。

人生の夢かなえられた
私は短期大学、大学と合わせて26年間、宗教学担当の教員として勤務させて頂きました。学園の皆様の御厚情と御支援のお陰で定年まで勤めさせて頂きましたことを深く感謝致しております。長い間大変お世話になり、有り難うございました。学生時代に真宗を専攻し、できることなら一生学究を続けたいと思っていた私にとりまして浄土真宗の精神を建学の精神とする相愛学園に勤務させて頂きましたことは、本当に有意義であり、また人生の夢をかなえさせて頂きました。将来の学園の発展と皆様の御多幸を心より念じます。

光陰矢の如し
私は大学を出てすぐ相愛に奉職し、瞬く間の43年間でした。常日頃から「相手の身になって物事を考えて行動を」と話してきました。しかしいざ実行となると、厳しい現実と向き合わねばなりませんでしたが、宗教行事、親鸞聖人ご命日の法話などを通じて、み仏に見守られ、いろいろな人や物のおかげで生かされていることに、私自身が「感謝することのみ」であると気がつかされ、教壇に立つ姿勢が変わりました。これからは、相愛で学びました「感謝」を忘れず、社会のためにつくしていくことを誓いつつ、感謝の言葉とさせていただきます。合掌

退職者(平成22年3月31日付)

大学	高等学校・中学	職員
学長 高橋 乘宜	校長 富田 健治	増田永津子
音楽学部 講師 奈良 希愛	専任教諭 坂田 明子(国語)	弓屋 弘子
人文学部 教授 横原 恭士	河野 定幸(数学)	仁木 睦美
本多 至成	児玉 大(理科)	油田 進
慶子	満生 誠(体育)	斐品 貢三
人間発達学部 教授 岩堂美智子	柳本 重夫(体育)	松本 美佳
講師 西野雅千子	前田 素久(英語)	岡崎真友子(平成21年8月31日)
助手 宇野 瞳	中村 尚司(数学)	吉田 達男(平成21年9月30日)
谷脇亜希子	常勤講師 中村 尚司	榮 博雄(平成21年12月31日)
	事務局 主幹 木下 功	村上 一馬(平成21年12月31日)
	山崎 文視	宮澤 優子(平成21年12月31日)
	中島 馨子	田中 武夫(平成21年7月31日)

2010 NewFace

- 1.所属
- 2.担当科目
- 3.趣味
- 4.抱負、モットー

安井 敏雄
1.音楽学部教授兼「音楽マネジメント学科」設置準備室室長
2.アート・マネジメント
3.旅行とクラシック音楽鑑賞
4.明るく、楽しく、勇気をもって。「若い力」で一步先ゆく相愛学園!(相愛オーケストラとはご縁がありました。45年も昔ですが)

竹林 秀憲
1.音楽学部教授
2.フルート実技、合奏
3.旅行、温泉巡り
4.文化芸術、とりわけ音楽の人間生活に与える役割の重要性を、学生と共に学んでいきたいと思っています。人類の最大遺産は文化です。

前田 昌宏
1.音楽学部教授
2.サクソフォン、吹奏楽、オーケストラ
3.最新テクノロジー探訪
4.若い力を引き出すことに限りない可能性と魅力を感じています。

林 裕
1.音楽学部准教授
2.チェロ
3.工作、発明、釣りなど。
4.小綺麗にまとめないで、大胆さを取り入れて、立派な芸術家になって欲しいと思います。

井上 麻紀
1.音楽学部専任講師
2.ピアノ実技
3.旅行、野球観戦、スキー
4.私が今まで経験して得てきたものを、一人でも多くの人に伝えていきたいと思っています。

中村 圭爾
1.人文学部日本文化学科教授
2.日本文化演習、基礎演習、アジア概説、アジア文化講読、アジア文化史、アジア文化入門
3.読書、音楽鑑賞
4.自らの立場を認識し、責任を果たすよう心がけています。学園の発展の礎石となれば幸いです。

稲 徹宗
1.人文学部人間心理学教授
2.宗教学A、仏教心理学、仏教概論A・B、真宗史A・B、基礎演習
3.映画、落語、日本拳法
4.学生諸君の知的好奇心を喚起させるような指導や講義をしたい、いつもそう思っています。

山口 繁
1.人間発達学部発達栄養学科 講師
2.ベーシックセミナーA、管理栄養士演習B、臨地実習A等
3.音楽鑑賞、旅行
4.健康づくりのために大切な栄養・食生活のあり方を学生たちに教えていきたい。

中村 加奈子
1.人間発達学部発達栄養学科 助手
3.絵を描くこと
4.「管理栄養士になる!」という、夢の実現をお手伝いできるように努めて参ります。

村岡 奈々瀬
1.人間発達学部発達栄養学科 助手
3.スキー
4.「自分に厳しく、他人に優しく」をモットーに頑張りたいと思います。

太田 正見
1.高等学校・中学校常勤講師
2.宗教科・国語科
3.音楽鑑賞・温泉巡り
4.「きづくことはきずくこと」皆さんと共に様々な場面で気づきを大切に、自らの楽きにしていきたいですね。

上辻 勝也
1.高等学校・中学校常勤講師
2.数学
3.旅行、読書
4.学園の一員として、一日でも早くお役に立てるよう、全力で努力いたします。

東山 真弓
1.高等学校・中学校常勤講師
2.数学
3.珈琲店巡り
4.新しい環境で、迷いが出てくることであっても、自分の心の声に素直に耳を傾け行動したいと思っています。

白比野 浩之
1.高等学校・中学校常勤講師
2.理科(生物・化学)
3.卓球、機械操作
4.生命科学の楽しさ、素晴らしさを生徒の皆さんにお伝えできる頑張ります。

四宮 友加里
1.高等学校・中学校常勤講師
2.保健体育
3.スポーツをすること・観劇
4.授業やクラブ活動を通して、諦めずにやり抜くことの大切さを伝えていければ・・・と思います。

福岡 俊二
1.高等学校・中学校常勤講師
2.保健体育
3.体を動かすこと
4.専門種目はバレーボールです。楽しくをモットーに、生徒の皆さんとともに汗を流していきます。

相愛学園イベントガイド

2010年5月～12月

5月

○中3修学旅行

5/6(木)～9(日)

○相愛大学音楽学部特別奨学生による演奏会

5/11(火)、12(水)

※本学南港ホール、入場無料

○市民仏教講座

5/15(土)13:30～15:00

※本学学生厚生館S307、受講無料

○公開講座ヴィオラスペース2010大阪

5/19(水)※本学南港ホール、入場無料

○北御堂相愛コンサート

5/20(木)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

※出演：相愛大学(トロンボーン・アンサンブル)

○親鸞聖人降誕会法要

5/20(木)※本学本町学舎講堂

○オープンキャンパス

5/30(日)9:30～14:30

※本学南港学舎

6月

○体育祭(高中)

6/5(土)予備日6日

○市民仏教講座

6/5(土)13:30～15:00

※本学学生厚生館S307、受講無料

○教員による相愛コンサート

6/8(火)、6/29(火)

※本学南港ホール、入場無料

○作曲作品発表会

6/9(水)、10(木)予定

※本学南港ホール

○定例礼拝

6/10(木)13:20～14:50

※本学南港ホール、自由参拝

○相愛トランペットコア演奏会

6/15(火)※本学南港ホール

○高3乙女コンサート

6/19(土)※本学本町学舎講堂

○オープンキャンパス

6/20(日)9:30～14:30

※本学南港学舎

○北御堂相愛コンサート

6/24(木)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

※出演：田中さおり(ピアノ)

7月

○定例礼拝

7/1(木)13:20～14:50

※本学南港ホール、自由参拝

○市民仏教講座

7/3(土)13:30～15:00

※本学学生厚生館S307、受講無料

○相愛ウィンドオーケストラ第32回定期演奏会

7/14(水)18:30開演

※アルカイックホール、入場料1000円

※指揮：小林恵子、若林義人

○サマーコンサート

7/17(土)

○北御堂相愛コンサート

7/22(木)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

※出演：竹内あすか(フルート)

○オープンキャンパス

7/25(日)9:30～14:30

※本学南港学舎

8月

○相愛大学音楽学部夏期受験講習会

8/2(月)～7(土)

○リーダーズキャンプ

8/18(水)～20(金)

○北御堂相愛コンサート

8/19(木)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

○オープンキャンパス

8/21(土)、22(日)9:30～14:30

※本学南港学舎

○高2修学旅行

8/29(日)～9/2(木)

9月

○オープンキャンパス

9/12(日)9:30～14:30

※本学南港学舎

○人間発達学部公開講座(メタボダイエット教室)

9/18(土)

※本学南港学舎

○市民仏教講座

9/18(土)13:30～15:00

※本学学生厚生館S307、受講無料

○文化祭(高中)

9/19(日)

○相愛オーケストラ第54回定期演奏会

9/24(金)18:30開演

※ザ・シンフォニーホール、

入場料 前売2500円 当日3000円

指揮：尾高忠明、小林恵子、酒井陸雄

○木管アンサンブルフェスタ

9/28(火)※本学南港ホール

○北御堂相愛コンサート

9/30(木)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

10月

○人間発達学部公開講座(メタボダイエット教室)

10/2、10/9、10/30(いずれも土曜日)

※本学南港学舎

○定例礼拝

10/7(木)13:20～14:50

※本学南港ホール、自由参拝

○市民仏教講座

10/9(土)13:30～15:00

※本学学生厚生館S307、受講無料

○開校記念日

10/14(木)

○北御堂相愛コンサート

10/21(木)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

○大学祭

10/23(土)、24(日)

○オープンキャンパス

10/23(土)、24(日)10:30～14:30

※本学南港学舎

○ホルンアンサンブル演奏会

10/26(火)※本学南港ホール

○教員による相愛コンサート

10/28(木)

※本学本町学舎講堂、入場無料

11月

○コントラバスアンサンブル演奏会

11/2(火)

○打楽器アンサンブル演奏会

11/6(土)

○クラリネットアンサンブル演奏会

11/9(火)

○トランペットアンサンブル演奏会

11/16(火)

○ギターアンサンブル演奏会

11/17(水)

○作曲作品発表会

11/24(水)、25(木)

○トロンボーンアンサンブル演奏会

11/27(土)

※いずれも本学南港ホール

○人間発達学部公開講座(メタボダイエット教室)

11/6、11/20(いずれも土曜日)

※本学南港学舎

○定例礼拝

11/11(木)13:20～14:50

※本学南港ホール、自由参拝

○高2乙女コンサート

11/13(土)

※本学本町学舎講堂

○市民仏教講座

11/13(土)13:30～15:00

※本学学生厚生館S307、受講無料

○北御堂相愛コンサート

11/25(木)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

○教員による相愛コンサート

11/29(月)

※南港ホール、入場無料

12月

○定例礼拝

12/2(木)13:20～14:50

※本学南港ホール、自由参拝

○輝くソリストの集い

12/4(土)

※本学本町学舎講堂

○パリチューバアンサンブル演奏会

12/7(火)

○フルートオーケストラ演奏会

12/18(土)

○金管アンサンブルフェスタ

12/20(月)

※いずれも本学南港ホール

○市民仏教講座

12/11(土)13:30～15:00

※本学学生厚生館S307、受講無料

○北御堂相愛コンサート

12/22(水)12:25～12:45

※本願寺津村別院(北御堂)、入場無料

※諸般の事情によりやむ得なく変更する場合があります。予め、ご了承下さい。

○編集後記

新しい年度を迎えました。私たちの周りを彩るあざやかな新緑と春の爽やかな息吹き、輝きを増してそそがれる陽光はまさに希望の象徴でありましょう。今年度、大学では新学長、中学・高校では新学長のご就任、大学人

文学部の改組・改編、音楽学部における「音楽マネジメント学科」開設(平成23年度)に向けての最終の詰め、その他、人間発達学部と音楽学部がリンクしての大阪府立急性期・総合医療センターとの連携など、学園における新たな潮流が次々に湧き起こっています。

「相愛ファミリア」も先号より冊子版に移

行。紙面の大幅な変更に対応すべく、スタッフ一同、読者の立場を念頭に置いて一層の工夫を凝らしながらのリニューアル第2号です。皆さまのご意見等いただきつつ、今後とも学園の新しい波をより生き生きとお伝えできる本誌でありたいと願っています。(斎藤)